

# 2009年度 第3四半期 決算説明会

(2009年4月～12月)

富士フイルム ホールディングス株式会社  
2010年1月29日

**注意** 本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

## 2009年度第3四半期連結業績

為替円高に加え、世界不況に伴う需要の減少  
構造改革を強力に推進

(単位:億円)

	2008年度 第3四半期		2009年度 第3四半期		増減		2008年度 9ヶ月累計		2009年度 9ヶ月累計		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	100.0%	5,657	100.0%	5,536	-121	-2.1	100.0%	19,042	100.0%	15,971	-3,071	-16.1
構造改革費用前 営業利益	0.7%	42	6.7%	370	328	-	4.7%	895	4.0%	636	-259	-29.0
構造改革費用	0.5%	29	5.6%	308	279	-	0.4%	70	4.2%	660	590	-
構造改革費用後 営業利益	0.2%	13	1.1%	62	49	-	4.3%	825	-0.2%	-24	-849	-
税金等調整前 四半期純利益	-4.5%	-254	1.3%	72	326	-	3.0%	563	-0.0%	-7	-570	-
当社株主帰属 四半期純利益	-2.8%	-159	-0.3%	-16	143	-	1.5%	295	-0.4%	-70	-365	-
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益		-31.99円		-3.24円		28.75円		58.64円		-14.31円		-72.95円
為替 :米ドル		97円		90円		-7円		103円		93円		-10円
:ユーロ		128円		133円		+5円		151円		133円		-18円

# 2009年度第3四半期連結業績

FUJIFILM

## ■ セグメント別内訳

(単位:億円)

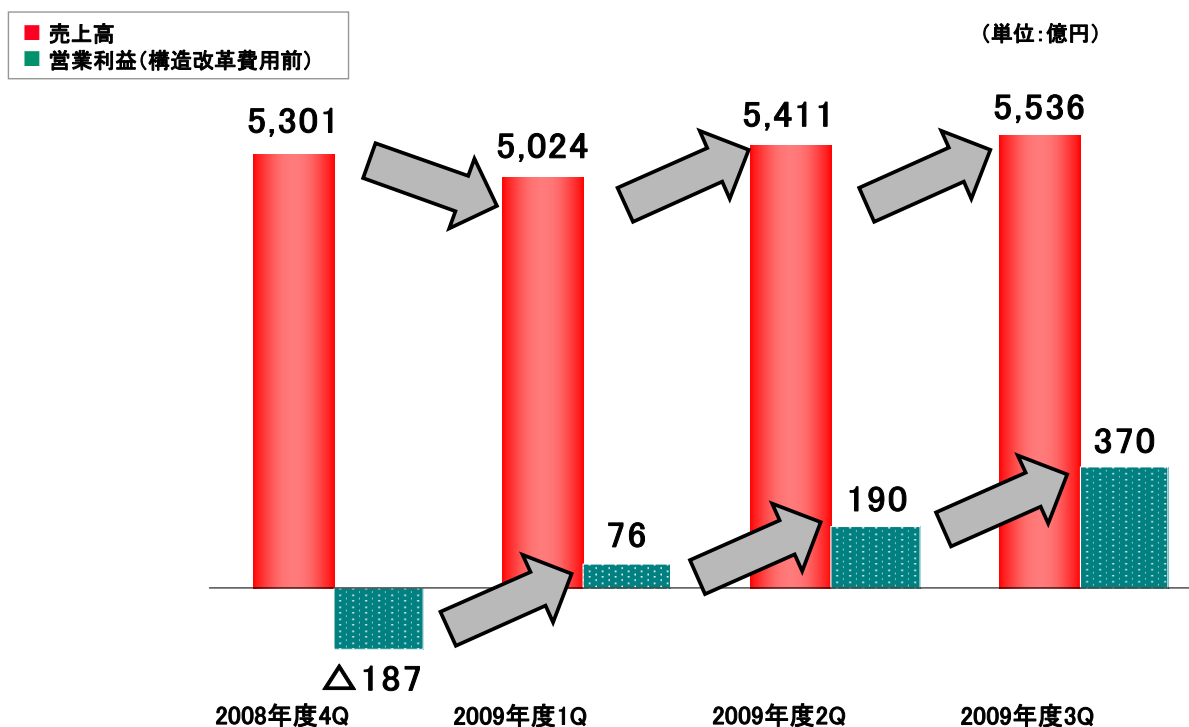
	セグメント	2008年度 第3四半期	2009年度 第3四半期	増減	増減率 (%)	2008年度 9ヶ月累計	2009年度 9ヶ月累計	増減	増減率 (%)
売上高	イメージング	1,052	972	-80	-7.6	3,364	2,666	-698	-20.7
	インフォメーション	1,964	2,219	255	13.0	7,379	6,520	-859	-11.6
	ドキュメント	2,641	2,345	-296	-11.2	8,299	6,785	-1,514	-18.2
構造改革費用前 営業利益	イメージング	-13	34	47	-	-88	-79	9	-
	インフォメーション	-119	146	265	-	379	359	-20	-5.5
	ドキュメント	182	198	16	8.5	633	384	-249	-39.3
構造改革費用	イメージング	7	29	22	-	-9	124	133	-
	インフォメーション	9	240	231	-	35	404	369	-
	ドキュメント	13	39	26	-	44	132	88	-
全社費用及び セグメント間取引消去	合計	-8	-8	0	-	-29	-28	1	-
構造改革費用後 営業利益	合計	13	62	49	-	825	-24	-849	-

2

# 2009年度第3四半期連結業績

FUJIFILM

## 売上高・営業利益ともに回復基調



3

## 計画を上回るペースで順調に進捗

(単位:億円)	9ヶ月実績	【内訳】	
		人員関連	資産関連
イメージング	124	70	54
インフォメーション	404	120	284
ドキュメント	132	95	37
構造改革費用計	660	285	375

国内外各社における人員スリム化、現像所統廃合、カラーペーパー製造工程の一部停止(オランダ)など  
 国内外各社における人員スリム化、資産(設備、無形固定資産)圧縮など  
 経営革新活動

4Qで構造改革費用 790億円計上し  
 年間で計画通り1,450億円計上予定

### イメージング・インフォメーション

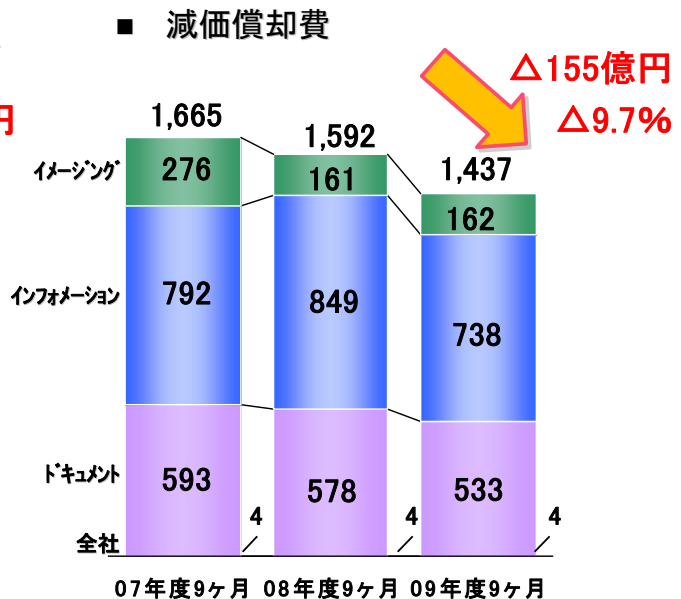
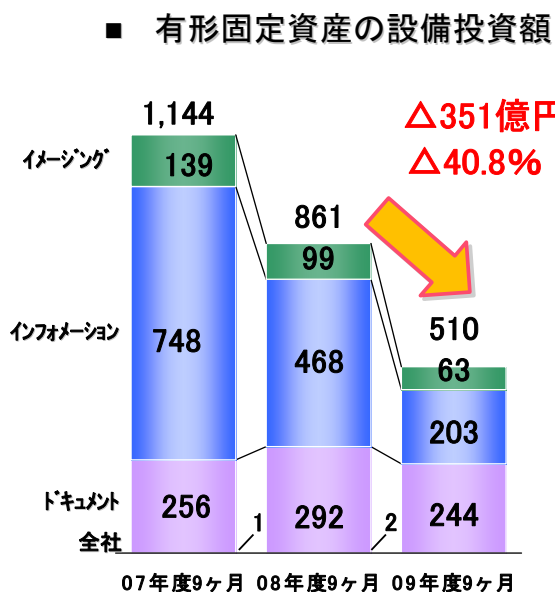
- ✓欧・米・中国・アジア等エリア毎に各現地法人の間接機能を地域本社に集約
- ✓フォト事業を中心とした固定費の大幅削減 など (国内外の全てのグループ会社の全部門・全事業を対象)

### ドキュメント

- ✓経営革新活動の加速
- ・R&D機能の再編・集約
- ・生産機能の最適化、原価低減の徹底推進

# 設備投資額と減価償却費

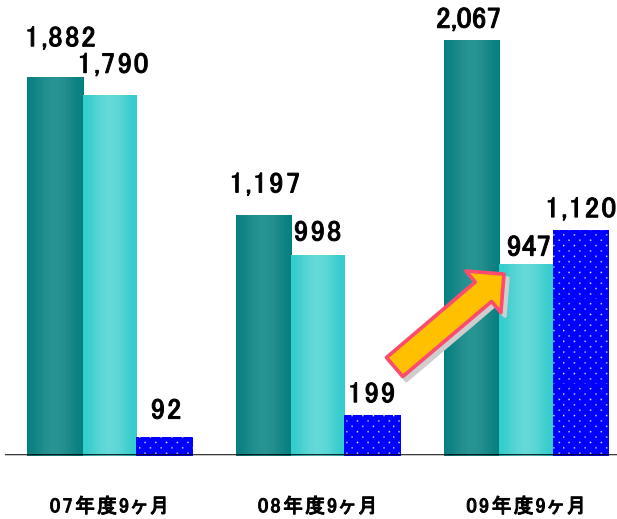
設備投資選別強化により設備投資・減価償却費は減少



ROE改善へ向け事業を「事業ROA」・「事業付加価値」・「事業CF」で管理。  
設備投資の選択と在庫削減によりフリーキャッシュフローは大幅に改善

■ 営業活動CF ■ 投資活動CF ■ フリーキャッシュフロー

(単位: 億円)



キャッシュフロー		08年度9ヶ月	09年度9ヶ月
四半期純利益		360	-43
減価償却費		1,592	1,437
長期性資産の減損費用		-	236
受取債権の増(-)減(+)		471	-70
棚卸資産の増(-)減(+)		-277	402
営業債務の増(+)-減(-)		-262	20
未払法人税等他負債の増(+)-減(-)		-776	-143
その他		89	228
営業活動によるCF		1,197	2,067
設備投資		-1,118	-641
有価証券・投資有価証券等の売却・購入		312	-108
その他		-192	-198
投資活動によるCF		-998	-947
フリーキャッシュフロー		199	1,120

921億円改善

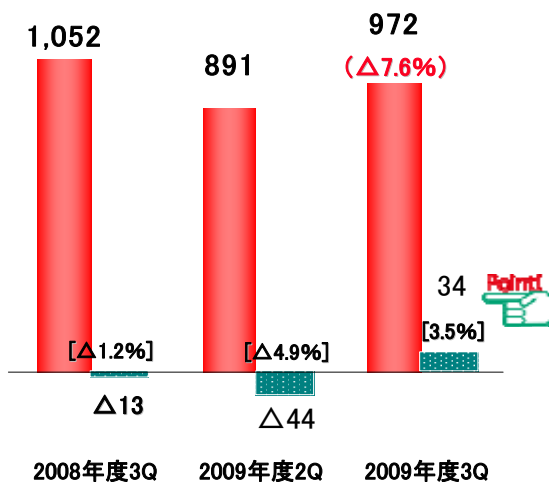
## 事業別セグメント情報 (第3四半期)

### ■ イメージング ソリューション

#### 売上高\*・営業利益

■ 売上高  
■ 営業利益(構造改革費用前)

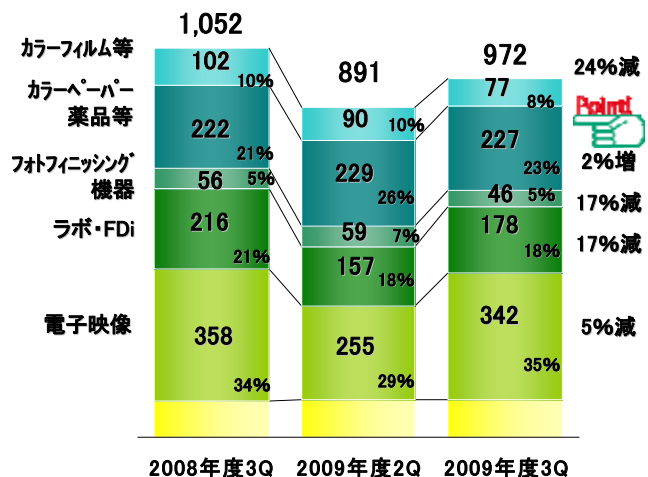
単位: 億円  
[]: 営業利益率  
( ): 前年3Q比



#### サブセグメント売上高

単位: 億円  
%: 売上構成比

前年3Q比



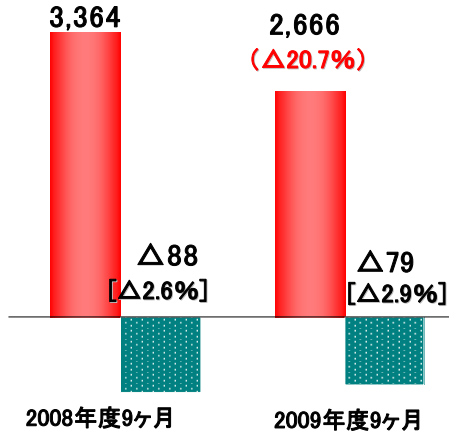
\*セグメント間取引消去後

## ■ イメージング ソリューション

### 売上高\*・営業利益

■ 売上高  
■ 営業利益(構造改革費用前)

単位:億円  
[]:営業利益率  
( ):前年比



#### 売上高

2,666億円(前年比 20.7%減)

- カラーフィルムの市場縮小に加え、為替の円高影響により売上が減少。
- 為替円高影響 △250億円(△ 7.4%)

#### 営業利益

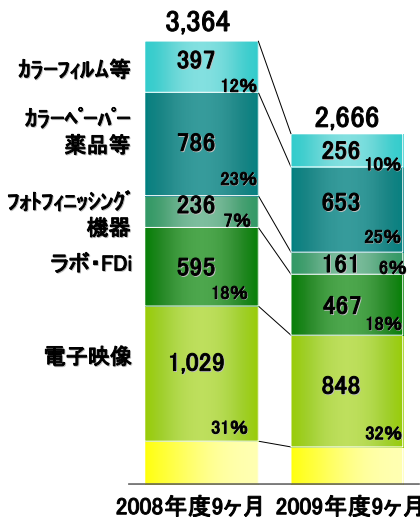
構造改革費用前 △79億円(赤字縮小)  
構造改革費用後 △203億円(赤字拡大)

- カラーフィルムなどフォト分野の売上減少や為替円高影響が収益を圧迫したが、デジタルカメラの損益が大幅に改善しセグメント全体では赤字縮小。

\*セグメント間取引消去後

## サブセグメント売上高

単位:億円  
%:売上構成比



#### カラーフィルム等

256億円 (前年比: 36%減)

- 市場縮小による売上減少が継続するが、当社市場シェアは上昇。

#### カラーペーパー・薬品等

653億円 (前年比: 17%減)

- 他社との競争が激化する中、フォトブックなど付加価値プリントの販売促進施策を引き続き強化し、シェアアップを推進中。

#### 電子映像

848億円 (前年比: 18%減)

- 単価下落や円高の影響を受け、売上高は減少。
- 部材コストダウンや固定費の圧縮及び在庫削減が功を奏し、事業営業利益は黒字化。
- 新興国をはじめ欧州等でもエントリーモデルの販売が好調。
- 9ヶ月累計でのデジタルカメラ販売台数は、ワールドワイドで720万台(前年比:7%増)エントリーモデルの販売台数は240万台。

## 電子映像事業

独自技術を活かした高付加価値差別化商品から新興国向けモデルまで  
ラインアップを強化

### FinePix F70EXR (2009年8月発売)

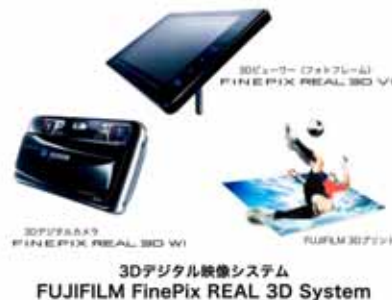
- ✓人間の眼のメカニズムに近づけた画期的な「スーパーCCDハニカムEXR」を搭載

### FinePix REAL 3D System (2009年8月発売)

- ✓高画質で自然な3D映像を簡単に撮影、専用メガネ不要で鑑賞できる世界初の「3Dデジタル映像システム」

### 新興国向けモデル(2009年7月以降順次発売)

- ✓100ドル以下という低価格で販売地域毎に好まれる機能・デザインを実現



新興国向けモデル「A170」  
1000万画素 3倍ズーム

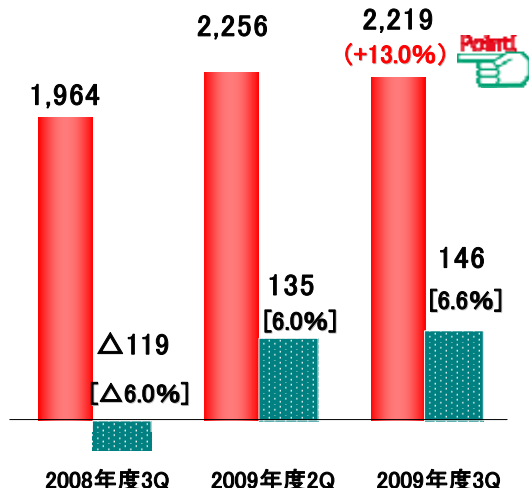
# 事業別セグメント情報 (第3四半期)

## ■ インフォメーション ソリューション

### 売上高\*・営業利益

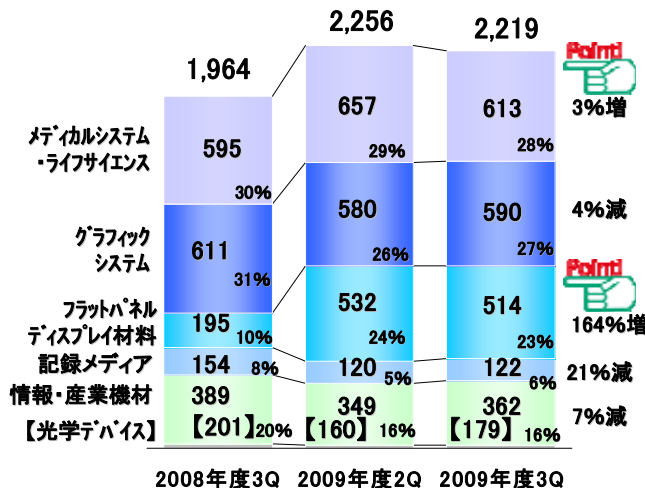
- 売上高
- 営業利益(構造改革費用前)

単位:億円  
[]: 営業利益率  
( ): 前年3Q比



### サブセグメント売上高

単位:億円  
%: 売上構成比  
前年3Q比



\*セグメント間取引消去後

## ■ インフォメーション ソリューション

### 売上高\*・営業利益

■ 売上高  
■ 営業利益(構造改革費用前)

単位: 億円  
[]: 営業利益率  
( ): 前年比

#### 売上高

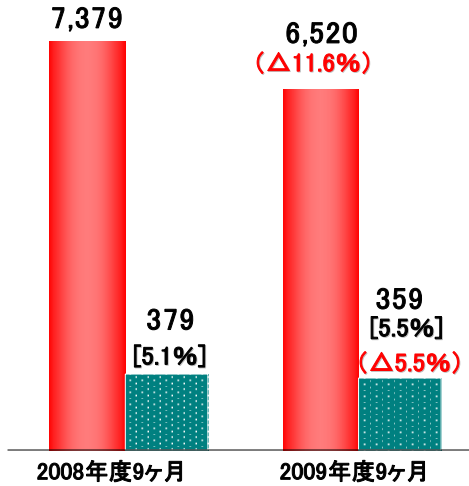
6,520億円(前年比 11.6%減)

- フラットパネルディスプレイ材料や医薬品の売上は増加したものの、グラフィック事業や光学デバイス事業等の販売が減少し、減収。
- 為替円高影響 △324億円(△4.4%)

#### 営業利益

構造改革費用前 359億円(前年比 5.5%減)  
構造改革費用後 △45億円(前年比 赤字化)

- 売上の減少や為替の円高影響を受けたが、好調なフラットパネルディスプレイ材料事業等により利益は微減に留まる。

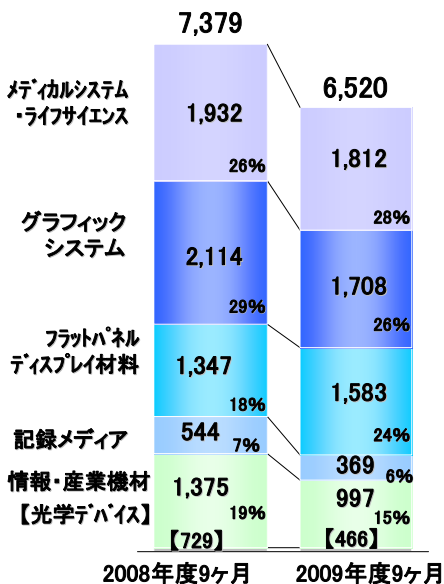


\*セグメント間取引消去後

# 事業別セグメント情報（9ヶ月）インフォメーションソリューション FUJIFILM

## サブセグメント売上高

単位: 億円  
%: 売上構成比



### メディカルシステム・ライフサイエンス

1,812億円 (前年比: 6%減)

- 新興国市場で先行発売した低価格・小型FCR「FCR PRIMA」を日・米・欧にも展開し、拡販を推進中。
- デジタルX線画像診断装置「GALNEO」シリーズを発売する等、高付加価値製品のラインアップ拡充により販売を強化。
- 「SYNAPSE」等の医用画像情報ネットワークシステムの売上は順調に拡大。
- 医薬品では、09年10月にインフルエンザ治療薬「T-705」が国内でフェーズⅢ臨床試験を開始した他、「ゾシン\*」、「ジェニナック\*\*」の販売が好調に推移。

### グラフィックシステム

1,708億円 (前年比: 19%減)

- 印刷需要が減少し、印刷材料全般で売上が減少。中国・東南アジアでは刷版の需要が回復傾向。
- ワイドフォーマットUVインクジェットシステムは、ハイエンド機種を中心に販売好調。

### フラットパネルディスプレイ材料

1,583億円 (前年比: 18%増)

- 中国政府の内需振興政策を中心に液晶テレビの需要が伸長。旺盛な「フジック」の需要により売上が好調に推移。

### 情報・産業機材

997億円 (前年比: 27%減)

- 光学デバイス分野では、カメラ付き携帯電話用レンズユニットは受注回復傾向。
- 国内外大手半導体メーカー向けArF液浸レジストの採用も固まり、今後先端分野の販売も堅調に推移する見通し。

\*「ゾシン」: 肺炎、敗血症、腎盂腎炎、複雑性膀胱炎に用いる注射剤、\*\*「ジェニナック」: 呼吸器、耳鼻科領域の感染症に用いる経口剤

フラットパネルディスプレイ材料

「WVフィルム」新工場本格稼働(2009年7月～)

- ✓ 伸長する新興国の液晶テレビ需要に対応
- ✓ WVフィルムの生産能力を増強し、安定供給体制を整備。

「フジタック」第3工場第2ライン稼働(2009年12月～)

- ✓ 当初計画通り富士フィルム九州の3工場6ラインが全て稼働。
- ✓ 生産能力はフジタックトータルで680百万㎡。



WVフィルム第9工場

医薬品

(参考資料P.28)

富山化学の9か月累計の売上が対前年33%増

- ✓ 「ゾシン」、「ジェニナック」の販売が好調に推移

「オゼックス細粒小児用15%」発売(2010年1月12日～)

- ✓ 難渋している小児の肺炎・中耳炎の治療に新たな選択肢

インフルエンザ治療薬「T-705」国内でフェーズⅢ臨床試験開始(2009年10月29日～)



ゾシン

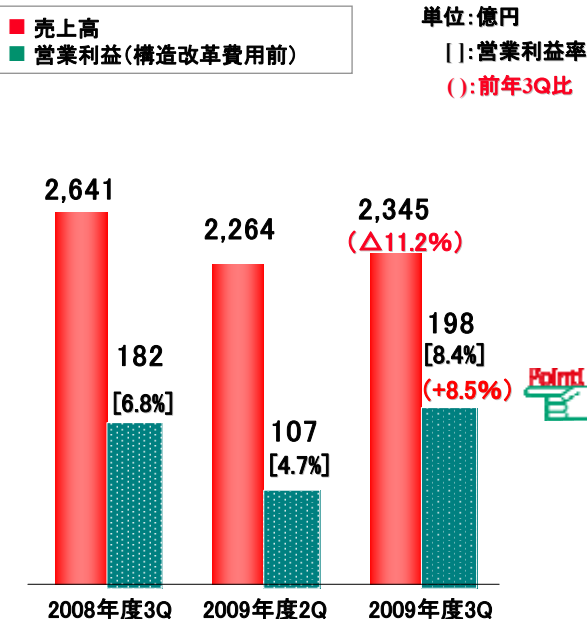


ジェニナック

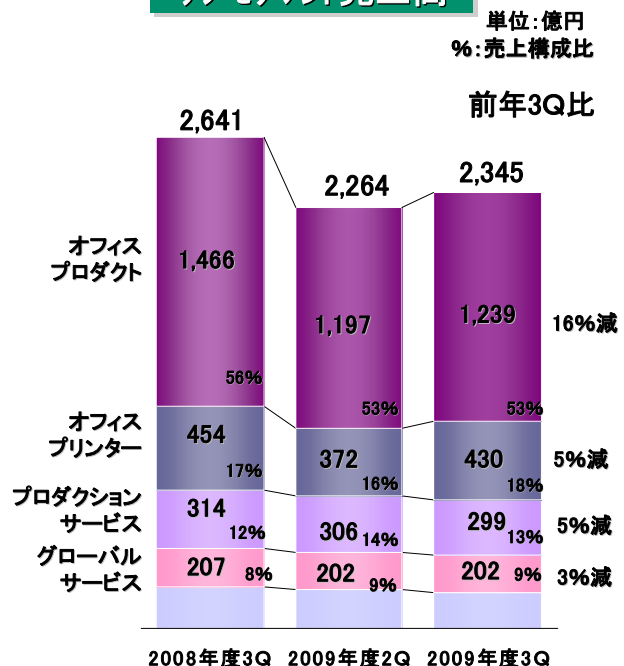
事業別セグメント情報 (第3四半期)

■ ドキュメント ソリューション

売上高\*・営業利益



サブセグメント売上高



\*セグメント間取引消去後

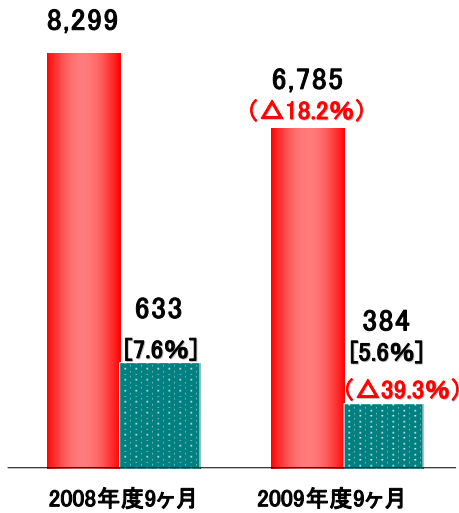


## ■ドキュメントソリューション

### 売上高\*・営業利益

■ 売上高  
■ 営業利益(構造改革費用前)

単位: 億円  
[]: 営業利益率  
( ): 前年比



#### 売上高

6,785億円(前年比 18.2%減)

- 需要低迷と為替の円高影響により減少したが、下期に入りアジア・中国は為替の影響を除きプラス成長となるなど一部で回復傾向。
- 為替円高影響 △321億円(△3.9%)

#### 営業利益

構造改革費用前 384億円(前年比 39.3%減)  
構造改革費用後 252億円(前年比 57.2%減)

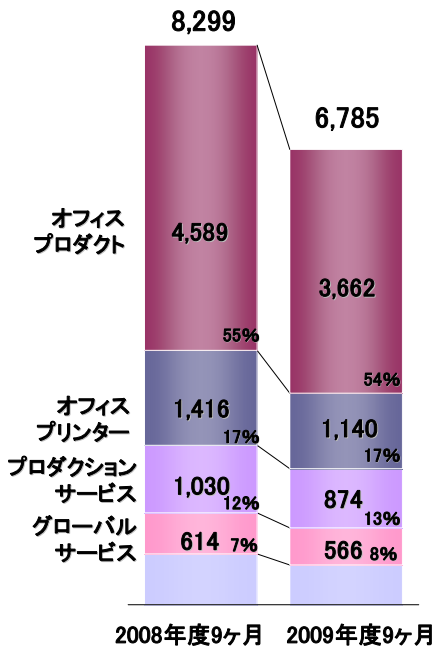
- 原価低減、販管費の管理強化・効率化の継続により、下期において利益は改善傾向。

\*セグメント間取引消去後

# 事業別セグメント情報（9ヶ月）ドキュメントソリューション

## サブセグメント売上高

単位: 億円  
%: 売上構成比



#### オフィスプロダクト

3,662億円 (前年比: 20%減)

- 国内は、企業の設備投資抑制の影響で減収となったが、コピー枚数は回復傾向。
- 米国ゼロックス社向け輸出は減少したが、アジア・オセアニア地域では中国市場での販売台数増加により前年並みの水準に回復。

#### オフィスプリンター

1,140億円 (前年比: 20%減)

- 国内は需要の減少により販売台数が減少したが、米国ゼロックス社向けカラー機の輸出は回復傾向。
- アジア・オセアニア地域は、中国及びその他アジア諸国での好調により、販売台数が大きく増加。

#### プロダクションサービス

874億円 (前年比: 15%減)

- 国内及び米国ゼロックス社向け輸出は、販売台数全体では減少したものの、ライトプロダクション・カラーシステムの販売が好調。
- アジア・オセアニア地域では、ライトプロダクション・カラーシステムの販売が好調に推移し販売台数が増加。

#### グローバルサービス

566億円 (前年比: 8%減)

- 景気悪化の影響により売上が減少したが、マネージド・プリント・サービスが伸長。

## 8月以降画期的新製品を次々に発売しラインアップを強化

### オフィスプロダクト製品

ApeosPort-IV / DocuCentre-IVシリーズ(全8機種)



業界トップの省エネ性能と卓越した機能・操作性を実現！

・LED(発光ダイオード)、EA-Ecoトナーをオフィス向け商品で初めて採用

[2009年8月から販売開始](#)

DocuCentre-IV C2260



スモールオフィス向け商品を強化し、中・小規模事業所市場へ本格展開！

・EA-Ecoトナーを採用し、小型で基本性能に優れ高いコストパフォーマンスを実現

[2009年12月から販売開始](#)

### プロダクションサービス製品

Color 1000 Press / Color 800 Press(全2機種)



さらなる高画質、高生産性、高安定性を実現し、プロダクションカラープリンティング市場を牽引！

・EA-Ecoトナーをハイエンドクラスで初めて採用。  
・薄紙から厚紙まで用紙対応範囲を拡大

[2010年1月29日以降順次販売](#)

# 富士ゼロックス経営革新活動の加速

強靱な企業体質への変革と競争力強化を目指し  
開発・生産機能を再編・統合 開発、生産新会社を設立  
事業構造の変革を加速

(参考資料  
P.29)

R&D機能の再編・集約

技術力・顧客対応力の強化

「富士ゼロックス」と新会社「富士ゼロックスアドバンステクノロジー」を軸に、  
全国5拠点到分散しているR&D機能を再編し、新拠点「みなとみらい21」に集約

【富士ゼロックス】

商品開発、プラットフォーム、マーケティング技術、新規技術開発に集中

【富士ゼロックスアドバンステクノロジー】

画像読み込みや紙送り、FAX機能や後処理装置等のモジュール開発、顧客要求に迅速に対応するカスタマイズ開発

生産機能の最適化

コスト競争力強化

新会社「富士ゼロックスマニュファクチャリング」に生産機能を統合

- ・複数拠点で生産している粉砕トナー等の生産を竹松事業所に集約
- ・プロダクション商品を中心とした高技能型生産を、新潟事業所(旧新潟富士ゼロックス製造) に集約(オフィス向けプリンター生産を中国に全面移管)
- ・各社が分散して保有している間接機能を集約

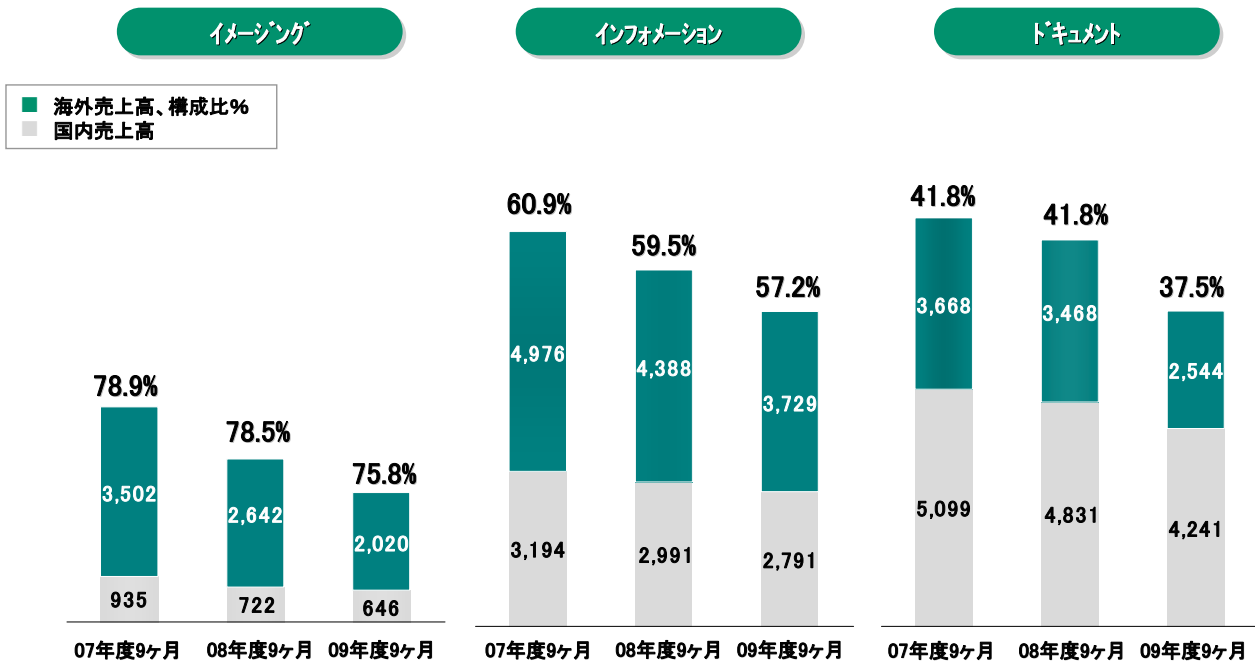
	2009年度 修正予想		2009年度 10/30予想		対前回予想		2008年度 実績	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	100.0%	21,700	100.0%	23,000	-1,300	-5.7	100.0%	24,343
構造改革費用前 営業利益	3.7%	800	2.4%	550	250	45.5	2.9%	708
構造改革費用	6.7%	1,450	6.3%	1,450	0	-	1.4%	335
構造改革費用後 営業利益	-3.0%	-650	-3.9%	-900	250	-	1.5%	373
税金等調整前 当期純利益	-3.1%	-680	-4.0%	-930	250	-	0.4%	94
当社株主帰属 当期純利益	-2.4%	-520	-2.6%	-600	80	-	0.4%	105
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益		-106.43円		-122.80円		16.37円		21.10円
為替 :米ドル		93円		93円		-		101円
:ユーロ		131円		132円		-1円		145円

為替感応度(年間/対営業利益)US\$ 6億円 ユーロ 5億円

## 参考データ

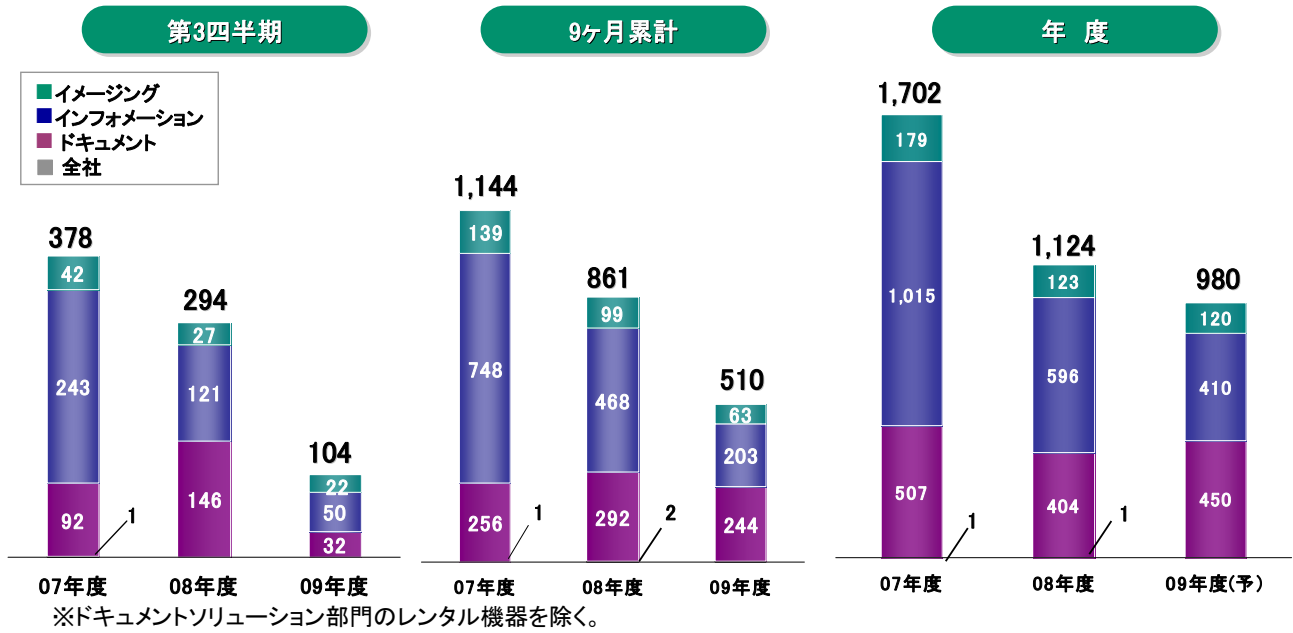
### ■ 海外売上高

(単位:億円)



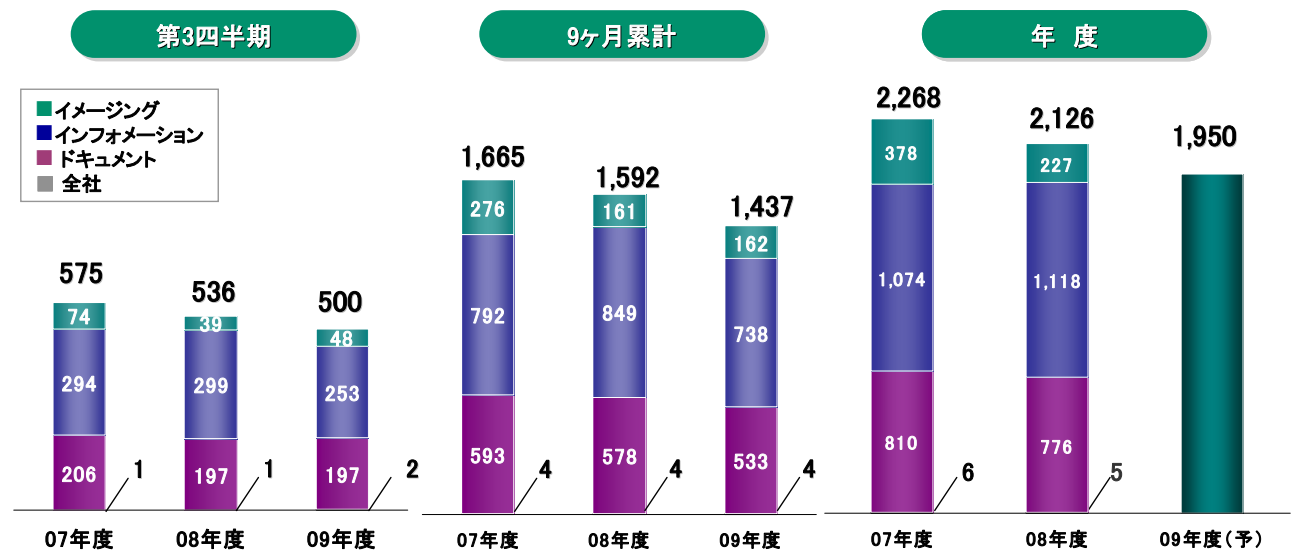
■ 有形固定資産の設備投資額\*

(単位:億円)



■ 減価償却費

(単位:億円)



有形固定資産\*の減価償却費

419	382	348	1,147	1,121	980	1,596	1,499	1,347
-----	-----	-----	-------	-------	-----	-------	-------	-------

※ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く

## ■ 研究開発費

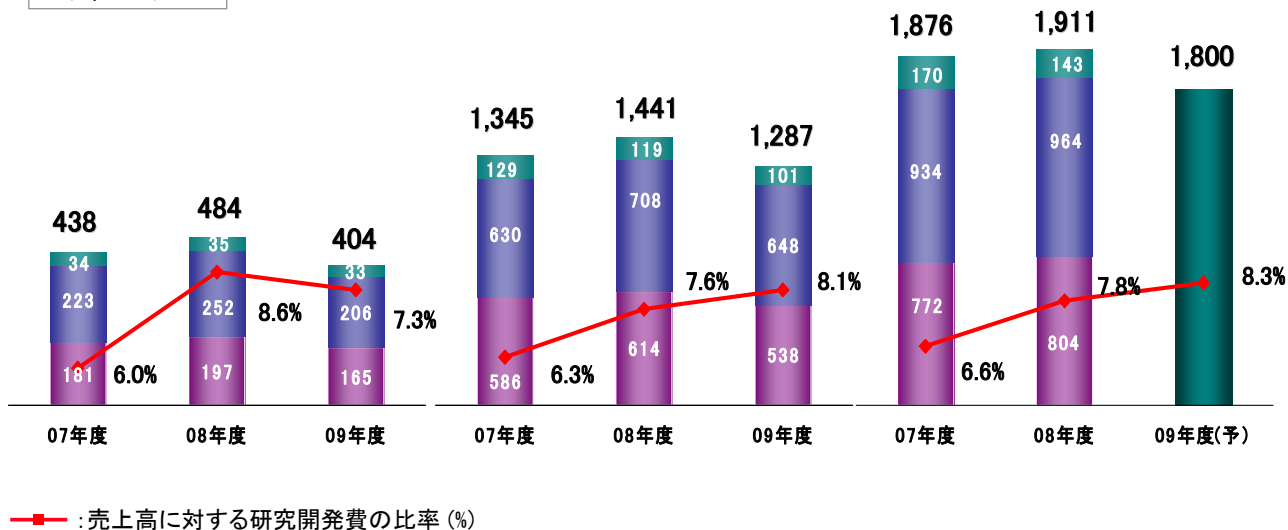
(単位:億円)

第3四半期

9ヶ月累計

年度

- イメージング
- インフォメーション
- ドキュメント



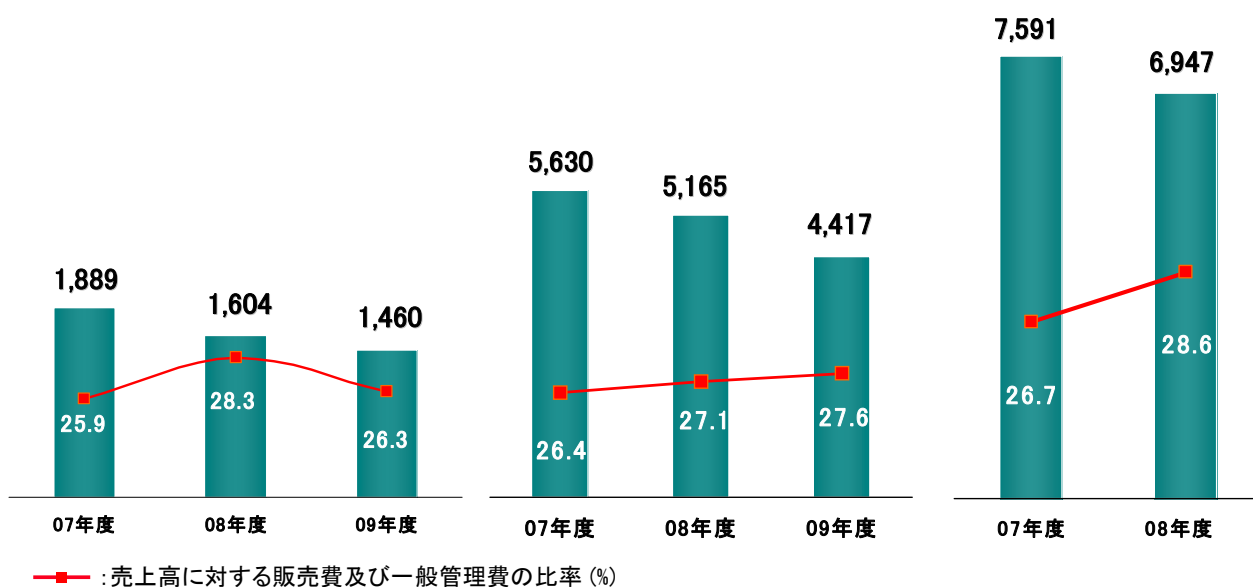
## ■ 販売費及び一般管理費

(単位:億円)

第3四半期

9ヶ月累計

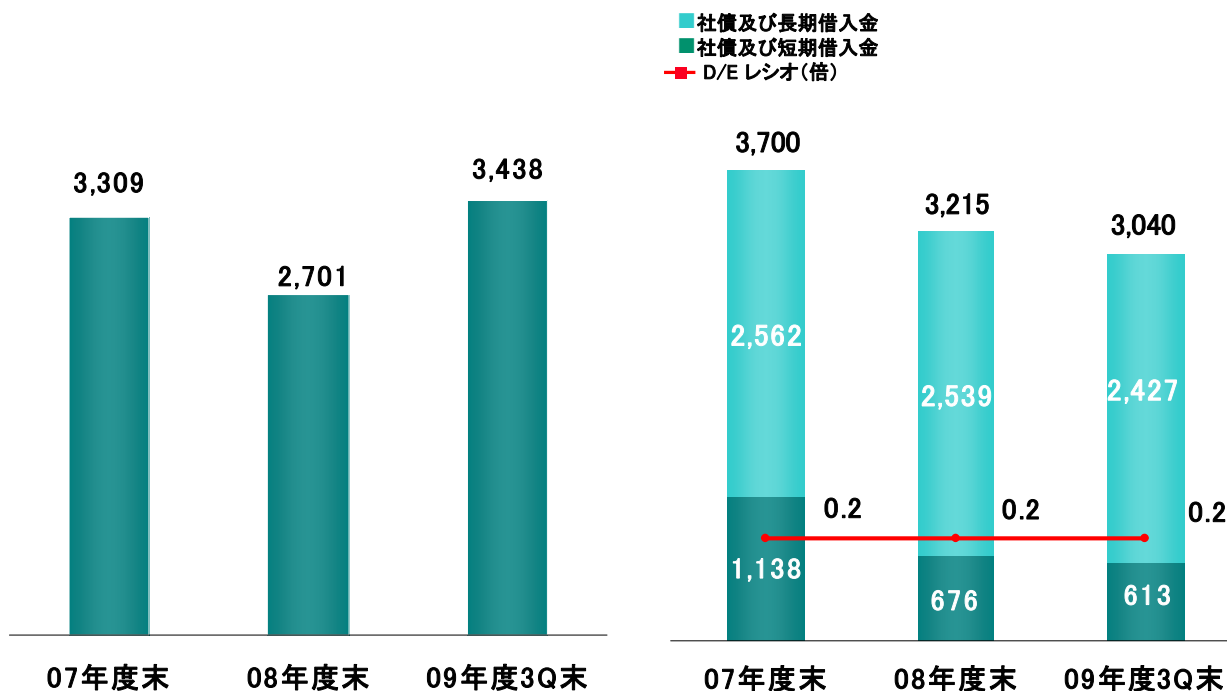
年度



■ 現金及び現金同等物

■ 有利子負債

(単位:億円)

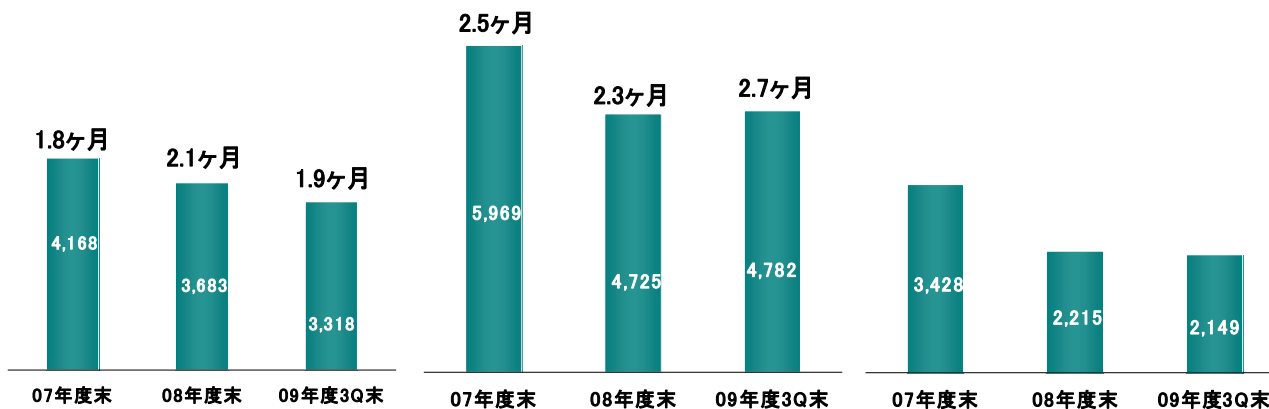


■ 棚卸資産

■ 受取債権

■ 支払債務

(単位:億円)  
(保有月数)



■ 富山化学工業(株)新薬開発スケジュール

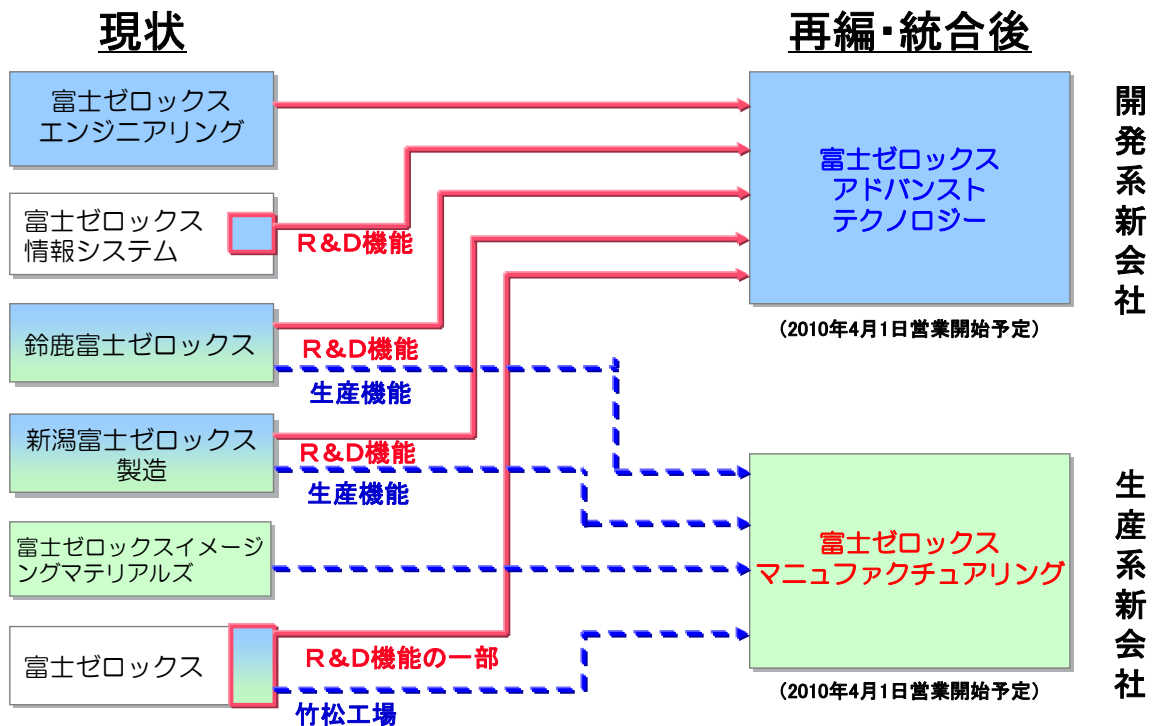
開発番号	薬効	地域	開発段階					剤形
			非臨床試験	P I	P II	P III	申請	
T-3762	ニューキノロン系合成抗菌剤	日本	[進捗バー]					注射*
T-614	抗リウマチ剤	日本	[進捗バー]					経口
T-3811	ニュータイプのキノロン系合成抗菌剤	日本	[進捗バー]					注射**
		米国	[進捗バー]					経口/注射
		欧州	[進捗バー]					
T-705	抗ウイルス剤	日本	[進捗バー]					経口
		米国	[進捗バー]					
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療剤	米国	[進捗バー]					経口
T-5224	抗リウマチ剤	日本	[進捗バー]					経口
		海外	[進捗バー]					
T-2307	抗真菌剤	米国	[進捗バー]					注射
T-1106	抗ウイルス剤	日本	[進捗バー]					経口

\* 発売中の「バシル点滴静注液」の用量追加

\*\*経口剤は「ジェニナック錠」として発売

※前回(2009年10月30日)公表時からの変更点: T-3262細粒(オゼックス細粒小児用15%) 2010年1月発売のため表より削除

■ 富士ゼロックス R&D・生産機能の再編・統合



■ 為替、人員

● 為替

(単位:円)

	2008年度						2009年度						
	9ヶ月					4Q	9ヶ月					4Q 予想	予想
	1Q	2Q	3Q				1Q	2Q	3Q				
米ドル	104	108	97	103	94	101	97	94	90	93	90	93	
ユーロ	163	162	128	151	124	145	133	133	133	133	125	131	

\* 為替感応度(年間) (1円の変動につき)

	営業利益
米ドル	6億円
ユーロ	5億円

● 人員

	2008.12末	2009.3末	2009.6末	2009.9末	2009.12末
連結	78,203	76,252	75,929	75,938	75,333

605人減

FUJIFILM

わたしたちは、先進・独自の技術をもって、  
最高品質の商品やサービスを提供する事により、  
社会の文化・科学・技術・産業の発展、  
健康増進、環境保持に貢献し、  
人々のクオリティ オブ ライフのさらなる向上に寄与します。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 IR室

<http://www.fujifilmholdings.com>